

株主の皆様へ

第100期

中間報告書

(平成23年4月1日から
平成23年9月30日まで)



東大阪市稲田上町2丁目2番46号

近畿車輛株式会社

(証券コード：7122)

企業理念

我々は、
常に誠意と熱意を持って、優れた技術と創造力を発揮し、
豊かで快適な人間環境の実現に貢献します。

経営方針

- 規範を遵守し、顧客第一主義に徹する。
- 創造的な開発をたゆまず推進し、独自の技術を確立する。
- 最高の品質を目指し、技術の蓄積・継承を行う。
- 安全で明るい、活気ある職場にする。
- 人財育成に努め、適正な能力評価を行う。
- 国際的な視野を持ち、世界に貢献する。
- 利潤を確保し、企業発展を続ける。

行動基準

何ごとも、できない理由を考えるより、どうしたらできるかと積極的に考える。
何が何でもやり抜くという哲学を持ち、共に仕事をし、共に喜びを分かち合う。

環境方針

○基本理念

当社は、鉄道車両の設計・製造に関わるあらゆる企業活動において、環境目的・目標を定め、実施計画を推進し、必要により見直して、継続的な改善活動を実行し、環境保全に貢献します。

○環境活動方針

1. 社員および当社に関わる協力会社は、環境にやさしい鉄道車両を世界に提供し、環境改善に貢献します。
2. 製品の製造およびサービスに用いる資源、エネルギーを有効に活用し、環境の保全に努めます。
3. 環境に関する法規制等を遵守し、地球環境負荷の低減に積極的に取り組みます。

第100期中間報告書

営業の概況

(平成23年4月1日から
平成23年9月30日まで)

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響による個人消費の落ち込み、企業の生産活動の低迷から、ようやく回復の兆しを見せ始めましたが、欧州に端を発する世界金融不安や米国の景気低迷により、かつて無い円高水準、株価の低迷が続くなど、景気の先行きが不透明な状況のうちに推移しました。

こうした状況の中、当社の当第2四半期累計期間の業績は次のとおりとなりました。

鉄道車両部門につきましては、受注高は64億1千3百万円（前年同期比50.7%）となり、期首繰越受注高を合わせた受注総額は399億3千9百万円（前年同期比59.8%）、売上高は、JR向け特急車両やカイロ地下鉄向け車両など118億4千9百万円（前年同期比66.6%）となりました。

不動産賃貸部門につきましては、売上高は3億6千3百万円（前年同期比97.6%）となりました。

以上により、売上高は122億1千2百万円（前年同期比67.3%）となりました。

一方、損益面では、業務の効率化に努めましたが、売上高の減少により、当第2四半期累計期間の営業利益は14億4百万円（前年同期比36.0%）となりました。経常利益は、為替差損の発生などにより13億4千2百万円（前年同期比33.9%）となり、四半期純利益は、8億1百万円（前年同期比33.7%）となりました。

また、連結決算の業績につきましては、当第2四半期連結累計期間の受注高は76億9千7百万円（前年同期比55.4%）、期首繰越受注高を合わせた受注総額は467億7千8百万円（前年同期比51.9%）、売上高は182億9千2百万円（前年同期比67.8%）となりました。また、営業利益は25億1千万円（前年同期比46.8%）、経常利益は24億5千1百万円（前年同期比45.1%）、四半期純利益は14億9千5百万円（前年同期比45.0%）となりました。

次に、今後の見通しといたしましては、国内市場は、旅客輸送人員の減少、新幹線及び在来線の取り替え更新による需要の一巡などにより、当面の車両発注は減少するものと予想されます。また、海外市場は、歴史的な円高が続く中、ユーロ安を背景とした欧州メーカーや低コストを武器にした新興国との受注競争が激化してきており、当社を取り巻く経営環境は、より一層厳しくなることが予想されます。

このような情勢の中、当社といたしましては、低コスト生産体制の構築に取り組むとともに、エンジニアリング機能の強化、新製品・新技術の開発を進め、鉄道車両総合メーカーとして事業領域の拡大を図ってまいります。また、昨年米国向けに開発、製作した「架線があってもなくても走行可能なリチウムイオン蓄電池駆動100%低床LRV営業先行車」『ameriTRAM』を公共交通関連で北米最大の展示会『APTAA EXPO 2011』に出展するなど、国内外ともに積極的な提案型営業活動を通して受注を確保し、業績の向上に努めてまいり所存であります。

四半期個別財務諸表

四半期貸借対照表の要旨

	前第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日)	前事業年度末 (平成23年3月31日)		前第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日)	前事業年度末 (平成23年3月31日)
区 分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	区 分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産				流動負債			
現金及び預金	5,641	10,333	9,861	支払手形及び買掛金	4,155	2,849	3,425
受取手形及び売掛金	5,771	3,315	4,615	未払法人税等	1,731	360	577
原材料	537	595	513	賞与引当金	318	257	275
仕掛品	9,858	6,106	7,033	製品保証引当金	1,072	726	837
その他	1,982	1,057	1,351	受注損失引当金	390	-	371
貸倒引当金	△5	△3	△4	その他	1,700	1,713	3,123
流動資産合計	23,784	21,406	23,370	流動負債合計	9,367	5,907	8,611
固定資産				固定負債			
有形固定資産	8,408	7,813	8,018	退職給付引当金	1,080	1,070	981
無形固定資産	146	120	141	その他	1,886	1,538	1,586
投資その他の資産				固定負債合計	2,967	2,609	2,568
投資有価証券	4,037	4,155	4,218	負債合計	12,335	8,517	11,179
その他	1,209	1,133	1,140	(純資産の部)			
貸倒引当金	△418	△415	△418	株主資本			
投資その他の資産合計	4,828	4,873	4,939	資本金	5,252	5,252	5,252
固定資産合計	13,383	12,806	13,099	資本剰余金	3,124	3,124	3,124
資産合計	37,167	34,213	36,469	利益剰余金	16,418	17,240	16,783
				自己株式	△93	△94	△94
				株主資本合計	24,702	25,523	25,066
				評価・換算差額等			
				その他有価証券評価差額金	114	186	222
				繰延ヘッジ損益	15	△13	-
				評価・換算差額等合計	129	172	222
				純資産合計	24,832	25,696	25,289
				負債・純資産合計	37,167	34,213	36,469

四半期損益計算書の要旨

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前事業年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
区 分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
売上高	18,157	12,212	35,189
売上原価	13,044	9,672	27,708
売上総利益	5,113	2,539	7,480
販売費及び一般管理費	1,206	1,135	2,893
営業利益	3,906	1,404	4,587
営業外収益			
受取配当金	38	42	240
雑収入	107	37	128
営業外収益合計	145	79	368
営業外費用			
支払利息	6	2	11
為替差損	74	113	69
雑支出	8	26	45
営業外費用合計	89	142	126
経常利益	3,963	1,342	4,829
税引前四半期(当期)純利益	3,963	1,342	4,829
法人税、住民税及び事業税	1,659	326	1,627
法人税等調整額	△70	215	255
四半期(当期)純利益	2,374	801	2,946

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

	前第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)		前第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)
区 分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	区 分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産				流動負債			
現金及び預金	9,479	16,664	14,416	支払手形及び買掛金	5,468	4,016	4,136
受取手形及び売掛金	7,721	6,842	7,579	未払法人税等	1,731	500	577
仕掛品	13,742	6,227	8,602	賞与引当金	735	561	294
原材料及び貯蔵品	548	610	527	製品保証引当金	1,072	726	837
その他	2,699	1,170	1,641	受注損失引当金	390	-	371
貸倒引当金	△44	△60	△40	その他	3,415	2,123	4,382
流動資産合計	34,146	31,455	32,726	流動負債合計	12,812	7,928	10,599
固定資産				固定負債			
有形固定資産	8,467	7,847	8,071	退職給付引当金	1,126	1,123	1,030
無形固定資産	150	123	145	その他	1,886	1,538	1,586
投資その他の資産				固定負債合計	3,013	2,661	2,616
投資有価証券	3,787	3,906	3,968	負債合計	15,825	10,590	13,216
その他	775	657	686	(純資産の部)			
貸倒引当金	△58	△56	△58	株主資本			
投資その他の資産合計	4,504	4,507	4,595	資本金	5,252	5,252	5,252
固定資産合計	13,122	12,478	12,812	資本剰余金	3,124	3,124	3,124
資産合計	47,269	43,933	45,538	利益剰余金	24,392	26,927	25,776
				自己株式	△93	△94	△94
				株主資本合計	32,677	35,210	34,059
				その他の包括利益累計額			
				その他有価証券評価差額金	114	186	222
				繰延ヘッジ損益	15	△13	-
				為替換算調整勘定	△1,363	△2,039	△1,960
				その他の包括利益累計額合計	△1,233	△1,867	△1,737
				純資産合計	31,443	33,343	32,322
				負債・純資産合計	47,269	43,933	45,538

四半期連結損益計算書の要旨

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
区 分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
売上高	26,969	18,292	52,587
売上原価	19,606	13,956	40,306
売上総利益	7,363	4,335	12,281
販売費及び一般管理費	2,004	1,824	4,542
営業利益	5,359	2,510	7,738
営業外収益			
受取利息	11	9	17
受取配当金	38	42	75
為替差益	-	-	74
雑収入	105	32	125
営業外収益合計	154	84	293
営業外費用			
支払利息	7	2	24
為替差損	57	113	-
雑支出	8	26	59
営業外費用合計	72	143	84
経常利益	5,440	2,451	7,947
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,440	2,451	7,947
法人税、住民税及び事業税	2,181	546	2,619
法人税等調整額	△64	409	414
四半期(当期)純利益	3,323	1,495	4,913

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
区 分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,505	2,901	12,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,545	△2,455	△1,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,339	△346	△4,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100	△152	△597
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	519	△52	6,456
現金及び現金同等物の期首残高	7,959	14,416	7,959
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	8,479	14,363	14,416

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

- ・発行可能株式総数 120,000,000株
- ・発行済株式総数 69,083,597株
- ・株主数 6,628名
- ・単元株式数 1,000株
- ・大株主(上位10名)

株 主 名	持 株 数 千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (近畿日本鉄道株式会社退職給付信託口)	24,300
近 畿 日 本 鉄 道 株 式 会 社	9,708
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	3,179
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,489
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,492
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	1,053
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ノーザン トラスト ガンジー アイリツシュ クライアantz	985
三 菱 重 工 業 株 式 会 社	770
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	739
中 原 俊 雄	422

役員（平成23年9月30日現在）

取締役社長	櫻井 紘一
専務取締役	宮本 勉
専務取締役	岡根 修司
常務取締役	矢辺 幸平
常務取締役	杉本 嘉孝
取締役	岩本 謙吾
取締役	堀江 富士雄
取締役	熊代 俊夫
取締役	和田 林道宜
監査役(常勤)	吉田 二三男
監査役	野崎 篤彦
監査役	美根 晴幸
監査役	植田 和保

株式のお手続きに関するご案内

1. 特別口座からの振替について

平成 21 年 1 月に行われた株券電子化の前に、証券会社に預託されなかった株主様の株式は、当社が三菱UFJ 信託銀行に開設した「特別口座」にて管理されております。「特別口座」の株式は単元未満株式の買取請求を除き、そのままでは売買できないなどの制約があります。ご所有の株式を口座管理機関（証券会社等）の取引口座（一般口座）に振替されることをお勧めいたします。なお、証券会社等に口座をお持ちでない場合は、あらかじめ証券会社等に口座を開設していただく必要があります。

2. 単元未満株式の買取請求について

単元未満株式（1, 000 株未満）につきましては、法律の規定及び当社株式取扱規則に定める手続きにもとづき、当社に対し市場価格で売却すること（買取請求）が可能となっております。

単元未満株式の買取請求に関する手数料は無料です。

3. 配当金の銀行振込によるお受け取りについて

配当金をより早く、確実にお受け取りいただくために、銀行預金口座または郵便貯金口座への振込をご活用ください。

銀行振込をご指定いただきますと、配当金領収証の紛失や払渡し期間を過ぎるなどのご心配がなく、配当金支払い開始日にご指定の口座へ配当金が振込まれ、受け取ることができます。

お手続き、お問合わせ先

- ・一般口座で株式をご所有の株主様
お取引の証券会社にお申出ください。
- ・「特別口座」で株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ 信託銀行へお申出ください。
(次ページの「株主メモ」もあわせてご覧ください。)

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 (基準日)	6月 3月31日 このほか必要がある場合は、あらかじめ公告して 基準日を定めます。
公告方法	電子公告により行います。 やむを得ない事由により、電子公告によることが できない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(アドレス) 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 同 連 絡 先	http://www.kinkisharyo.co.jp (当社ホームページ) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 (〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)

○ご注意

1. 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

投資家情報は、当社ホームページの「投資家のみなさまへ」でご覧いただけます。